けんぷファー?! ④
+神無月の巫女

【ごあいさつ】
こんにちは！佐藤あいです！
これを見ているということは、けんぷ?! 4 の無料サンプルおためしかっ！？！？！！？！？！？！をダウンロードしてくださったんですね！ˆ///ˆ ありがとうございますｗｗｗｗｗｗ

この小説は、おふざけた携帯小説形式ですので、横書きです。
縦じゃないです！びっくりしないでね！ｗｗｗ←

（これは本来のまえがきじゃないですｗｗｗ）

おためしかっ！？？！！！？！！？！？なので、数話のみ見れます！
こんなかんじでやっていきますのでよろしくどーぞ！！ｗ

【登場人物紹介】

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

こば（青）：♀・主人公・銃使い・Ｂ型・バイト先の女の子、あやののことを気に掛けている。普段は口数が少なくクールだが、変身後は逆転しよくしゃべるようになる、そしてぱっちり目になる。男には興味がないらしいが最近どうも高橋の熱意に押されかけていて、本人的にはやれやれという感じ。（慣れってやつですかね？）（笑）バイト先に移動してきた、ともみんに心がうたれ気味に…！

髪の色：変身前は黒。

　　変身後は黒に２本白いメッシュが入る。

パートナーアニマル：ケロロ

あい（青）：♀・こばの親友・魔法使い・Ｂ型・なんか小動物系の癒し系っぽい人。おっちょこちょいで鈍く、争い事はきらい。思いやりがあり優しいがオカルト傾向があり、ケンに女装をさせてみたいというひそかな願望を抱いている。ケンに好意を持たれているということにあまり気が付いていない。変身し、アイになると性格が活気的な男っぽくなり、体力も頭の回転も良くなる。「俺」口調になる。後者は高橋をつぶしたいと思っている。

髪の色：変身前:黒
変身後:ｵﾚﾝｼﾞ　（左）

パートナーアニマル：キイロイトリ

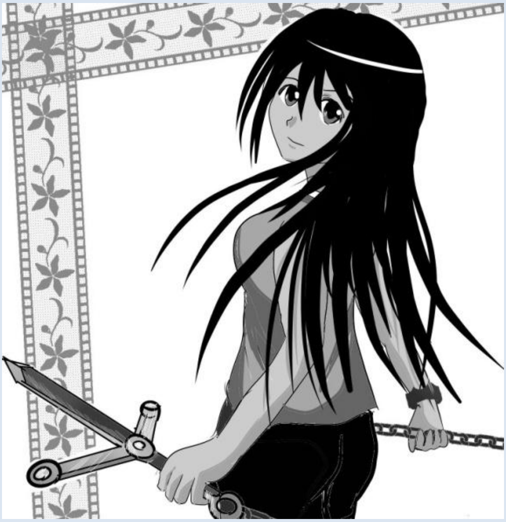
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

あやの（赤）：♀・味方・魔法使い・Ｂ型・一人称は「僕」。こばのバイト先の１つ年下の女の子・とてもわがままで自分勝手なところが激しい・人を信じなったが、こばとあいの想いの強さに心を動かされた。ぬいぐるみよりも「Ｎじま」と現実世界でいわれている声優を愛しているが、この物語とはなんの関係もありません（笑）こばにたてつくともみんのことが大嫌いらしく、会いたくないのでバイトを最近よく休んでいる。自称ニートの生活をしている。

髪の色：変身前は黒。
変身後は赤になる。

パートナーアニマル：なし

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



ケン（赤）：♂・味方・鎖付き剣使い・大学の男友達・O型・高橋の相棒・すっごいマイペースで少し鈍いところがある。物語中のやられ役？（笑）あいちゃんに気持ちを伝えようと頑張っているが、よくアイに邪魔されて終わる。そしてアイにいじられているが本人は特に動じていない。変身後は美しいおねえさんになり（♀）、一人称も「私」になる。

髪の色：変身前は黒。
　　　　変身後も黒だがロングになる。女体化　（左）

パートナーアニマル：クロ（ニャンパイア）

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

高橋：♂・日本刀のような剣使い・大学の男友達、通称（自称？）部長さん・ＡＢ型・ケンの相棒・こばに無視され可哀想な役回しにされているがくじけない。それでもこばにつっかかるが、気持ちに気付いてくれなく空振りしている。でも最近はなんとなくいい感じになった！と自分に自己暗示をかけている。実はモデレーターであり、あやのとは過去に会っていた。アイのことがうざいらしい。

髪の色：黒 たまに茶色

◆◆

ともみん：♀・機関銃使い・こばのバイト先の先輩。名字は高橋だが、部長さんとはまったくの無関係である。ちなみに B 型。

こばのことが好きな、百合傾向をお持ちのようで、あやのとは馬が合わない。赤ふちのメガネ。（隠れアニオタ）

結構おっとり・天然のように見えるが、変身後は嘘のようにキャラ崩壊するのだ！！

趣味は変なものが好きで、ちょっと変わった人である。

髪の色：黒

変身後は白になる。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
【その他登場人物（私的設定含む）】

ともみんの彼：ツバサ

・実の父を殺した過去を持っている。

自分と生き方が似ているあやのに惹かれていく…。

BL 漫画家：レーコ

・漫画家の頂点にたつため、ライバル漫画家を落としていこうとしていた。

しかしあいとケンに会い、次第に心が変わっていく…。

電子機械学科・コスプレ：ネココ

・部長の趣味でコスプレの彼女にメロメロらしいが、ネココは部長は眼中にすらない。

シスター：ミヤコ

・絶望を知った過去を持っていて、人々に絶望を与えようとしていた。

電子機械学科＆売れないアイドル：コロナ

・昔男に騙されてから男が嫌いに。

しかし、ケンと出会って少し変われたと思えるようになった。

（誰か、ケン×コロナの本希望←黙）

ミヤコの弟：ギロチ

・可愛い子ちゃん好き。ガチムチボディなんでしょうか……

ロリコンなんだろうね。胸のでかいねーちゃんタイプの女性は好みではないらしい。あいに付きまとうのやめてください！！＞＜

ピピピピ…

ピピピピ…

ピ…

高橋「…ん…。なんだよ…うるさいな…」
腕だけを布団から出し、目覚ましを止め、眼鏡をかける。
カーテンを開けると、日の光が差し込む。眩しいくらいの日の光。
高橋「っ！…やべ…学校！」

―――９月。
東京工芸大学。
ケンぷファーとして、白い竜と戦ってから１週間がたった。
あれから、とくに変わったことはなく毎日を過ごしている。
オレの、平凡な、日常。

こば「…あ！高橋くん…」
ケン「遅いよ～！早く行かないと授業始まっちゃうよ？」
校門の前で、こばとケンが待っていた。
高橋「わ、悪い！ちょっとま…うわぁ！？」

ドザー！！（すっ転んだ音）

ケン「た…高橋くん…（苦笑）」
こば「はぁ…ばか。」

♪はるかにそっと揺らめく、暗い過去の記憶に～

＃１　運命の出会い

キーンコーンカーンコーン♪
（放課後、食堂）

あやの「で？何？高橋が売店のバイト辞めたのか？」（イチゴ味のかき氷食ってる）

あい「うん…そうみたいなんだ。案外短かったけど…」（麦茶飲んでる）

あやの「ふ～ん。まぁいいけど。別に、あんな奴どうだっていいし…。ところで、バングルは？」

あい「…そ、それがね…」

水色の小さい巾着袋から、粉々になったバングルを出す。

あい「…何をしてもだめだったの…。もう、戻らないのかな…。」

あやの「ん～…でもさ、変だと思わないか？」

あやのが自分の右腕の赤いバングルを揺らしながら喋った。

あい「え…？」

あやの「もう戦いは終わったはずなのに。このバングルが外れたり消えたりしないんだぞ…」
あい「…！そういえば…確かに…。」

こば「あ、あやの様！」
ケン「やぁ～みんな！」
高橋「お、猫女。それと！また来たのか！のじあやの！」
あやの「あぁ？…うざ部長なんでしょうか」
高橋「うざくない！立派な部長さんだ！」
ビシッ！←指差した音
あやの「自分の事自分で立派とか言ってるやつがうざいんだよ」
高橋「なんだとー！？あやのんの！」
ケン「まぁまぁ！ふたりとも～…！（笑）」

こば「…？あいちゃん？」
あい「え…？あ…何？こば…。」
こば「…それ…」
あい「…あぁ…バングル…」
あいはこばの腕に揺れる青いバングルを見つめる。
こば「…あいちゃん…」
あい「…私、もうケンぷファーじゃないけど、こばの味方じゃないけど…」
こば「もう戦いは終わったんだよ。味方とか、もう関係ないよ？…みんな、仲間だから…。」
あい「…うん…。そうだね…。

（でも、なんだろう。私だけ、取り残されてる気がして。バングルが無いだけなのに、それだけなのに、皆と違う気がして…。そんなことないのに。ないはずなのに…。）」

ケン「…あ、ねぇ！」
高橋「なんだよ？」
ケン「今日これから買い物行かない！？もちろん皆で！」

あやの「いいぞ？別に。行ってやっても！」
高橋「げ！お前もいんのかよ…」
あやの「いやなら来んな」
高橋「はぁ？！ふざけ！のじあや！（笑）」
あやの「その呼び方。嫌いじゃないぞ…？（にやり）ノジマケンジっぽいしな。」
高橋「き…きもいゾ…あやの…」
あやの「死にてぇか？（笑）」

？？？「あのーすみませんにゃー…」
なんか、思いっきりコスプレだろ！な猫っぽいナースのちっこい女の子があらわれた！
しかも泣いてる。
高橋「あの？…どうかしましたか…んんっ！？」
（高橋脳内→な…に…っ！？大学生…？いやでも…こんなとこにこんな服装であらわれ…。そして、ちらりと見える八重歯…。も…も…萌える！！なんだコレはーーーー！）チュドーン！！

あやの「どうした？」
こば「高橋くん…？」
高橋「あ…ああ…ぁぁ…ははは……（///）」
？？？「あの〜…電子機械学科ってどこかわかりますかにゃー？」
高橋「え…？え？（///）…あ…オレ案内してあげるよ〜…さぁこっちへー…」
こば「高橋くん…？（ブチっ…）」
あやの「しねー！ごるぁああ！」（赤いバングルが輝く！！）
高橋「ちょ！？…ちょっと！あやのじ…ほぎょぁ！？」
バギャ…っ！！ッズゴオオオオオォォオン！（←あやのの爆裂ハリケンキックが高橋にさく裂した音！）

こば「高橋くんのばかぁぁぁ…！！（泣）」（←変身済み）
バンッバンバンバン！チュンチュンチュンチュン！！！！バッゴオオオオン！ドゴオオオッ！！
高橋「やべ…まっ！？ごめんなさ…！こば…！オレが悪かっ…！！あああああ？？！？！」
あやの「はあああああああっ！！！！」
ズドドドドドーーーーーーン！！（食堂のテーブルが次々にぶっ飛んでいく音）

ケン「…（女の子は怒らせない方がいいな…！）」
あい「…？」
猫ナースの子「…ふふふ…見つけたにゃ…」
そう呟くと、猫ナースの子はそのままどこかへ行ってしまった。

―――本厚木駅前。
あやの「わ…悪かった。さっきは。ごめん。」
高橋「いいって。…気にしてないし…」
ケン「あ…あの～…ふたりとも～…（苦笑）」
ケンが２人の真ん中を後ろから歩いている。高橋とあやのはお互い顔を合わせようとしない…。

あやの「だいたい、お前が悪いんだぞ…」
高橋「…ごめん…」
あやの「…ずいぶん素直だな？今日は…」
高橋「……。」
あやの「ホントに反省してるんだな。お前。」
高橋「…当たり前だろ。…オレの大事な彼女なんだ。軽い気持ちで傷つけて…。」
グッと拳を握りしめる…。

あやの「……そっか。…そうだよな、うん。偉いぞ！」
バシッ！（背中をぶったたいた音）
高橋「いっ…てぇ！なにすんだよ！あやの！」
あやの「あはは…！ばーか…。…隙だらけだっつの…。高橋は…」
高橋「はぁ？…隙？」
あやの「…あぁ…。隙…だ。」

ケン「…（なに話してるんだろう？）…そういえば、あいちゃんとこばちゃんはどうしてるかな…？図書館に残るって言ってたけど…」

―――大学の図書館

あい「これだよ！」

ドサッ！と大きな辞書のような分厚い本をテーブルにのせる！
それと同時にホコリが空中に舞う！

こば「う…。ちょっと…！」
あい「魔法の呪文が載ってる本！」
こば「(こんなもんがウチの大学にあったのか…)（苦笑)」
あいが、パラパラとページをめくる。
こば「…で？どの呪文で腕輪がなおるの？」
あい「ん～…ちょっとまってよぉ…」
パラパラパラ……

？？？「ちょっと！？図書館では静かにしてよね！？」
茶色いツインテールの黄色い髪留めの、いかにもツンデレです！って感じの女の子が話しかけてきた。
あい「ご…ごめんなさい…？！」

ツンデレの子「だいたいねー！あんたみたいなヘラヘラしたやつ、超ムカつくんだけど！このヘラヘラ女！いかにも暗そ～…なかんじだし…！」
あい「ちょっ…！いきなりなに…？！ヘラヘラ女って…。」
こば「……あいちゃんを悪く言わないでください…」
ツンデレの子「は？なんなの？なかよしごっこ？」
あい「…あ！思い出した！あなた、アイドルの…えーっと…コロネちゃん！」
コロナ「コロナよっ！ばか！電子機械学科のコロナよ。いいわよ、別に！覚えてくれなくても（///）」
こば「それよりさ、復活の魔法ってどれ？」
あい「ん～…どれだろ…」
コロナ「聞け？！人の話をーーー！？（笑）」

―――本厚木駅前。
ケン「じゃ！また明日～！」
高橋「おー！」
あやの「あぁ、また。」

３人はそれぞれ、バラバラに歩き出した。

あやの「…っ…。ばか…。なににやついてんだ。あいつは…あんな変な女がいいのか？あの年でにゃんにゃんとか言ってるあの女…気持ちわりー…。あいつ…。うあっ！？」

ドンっ！と誰かとぶつかって、後ろによろけた…！

？？？「あぶない…！！」

あやの「うっ…わ…っ！？…！…っ…！？」
左腕を掴まれ、背中に腕を回された。

？？？「大丈夫ですか？…お嬢さん…」

あやの「お…譲…さ…っ！？」

目を開けて、見ると、そこには、透き通るようなグリーンのサラッとした長い髪の、年上で、貴公子？っぽい男の人が視界に映った。そのスッとした目が、優しく、どこか切なそうに見つめる…。

？？？「お怪我はありませんか…？」

あやの「…！だ…大丈夫だから離してくれないか！？」

？？？「おっと…すみません。」
パッと手を離すと、手の甲に口づけをした。

あやの「へっ？！なっ！？（/////）」
？？？「素敵だ。…その目…。」
あやの「…え…（ドキッ…）」
？？？「そっくりだ…。まるで…。」
あやの「……（な…なんだろ…。僕、ドキドキしてる…。…初めて会った人なのに…）」
？？？「ツバサ…」
あやの「ツバ…サ…」
ツバサ「キミの名前は…？」
あやの「ぼ…僕は…、あやの。」
ツバサ「あやの…。素敵な名前だ。」
あやの「…！あ…あの…（///）」
ツバサ「おっと…そろそろ行かねば…。それでは。」

あやの「あ…っ…。……」

―――オロチの世界
　この世界は、８つの邪悪な力（オロチ）が支配している世界。私たちの住んでいる世界とはまた別の、もうひとつの世界。
〇〇の首と呼び合う８人のオロチがいる。

２の首「ヤマタノオロチが、もうすぐ動きだすわね」
５の首「世を…滅ぼす力…」
３の首「俺様の出番ってわけだな！ところで、あいつらはどこ行ったんだ？
１の首と４の首と６の首と８の首は…」
５の首「１と４と６はお出かけ。８は、まだ、帰ってきてない…。」
３の首「７の首…必ず、力を目覚めさせてくれるぞ…。」

♪いつか見た夢～

次回予告！
こば「町が崩壊していく…！？くらいのやばさだし！」
あい「…は…ハルマゲドン…？（違）」
こば「次回！神無月の巫女＋ケンぷ！＃２『ケンぷファーVS オロチ』」
あい「見ないと呪い！かけちゃうぞ☆」
ケン「おおう…僕のコーナーのはずだったのに！？（笑）」

あやの「この続きは製品版で見てくれーーーっ！」
あい「そんじゃ！」
こば「ていうかキミたちが仕切ることになったわけ？ｗｗｗ」
あやの「まあそんなとこだ！」
あい「けんぷ?!4 は、裏の美術倉庫の佐藤あいさんが書いてます。よろです！」